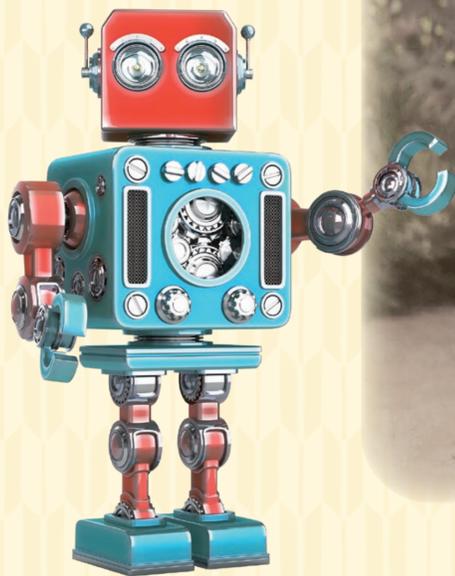




じん りき しゃ
人力車



めいじじだい ひとびと こうつう ささ じんりきしゃ
明治時代の人々の交通を支えた「人力車」。

えどじだいいぜん かご うま しゅりゅう
江戸時代以前は「駕籠」や「馬」が主流でしたが、

しゃりん と つ じんりきしゃ とうじょう ひとびと せい
車輪が取り付けられた人力車の登場は、人々の生
活をととても便利にしました。

かご はや うま こまわ
駕籠よりもスピードが速く、馬よりも小回りがき

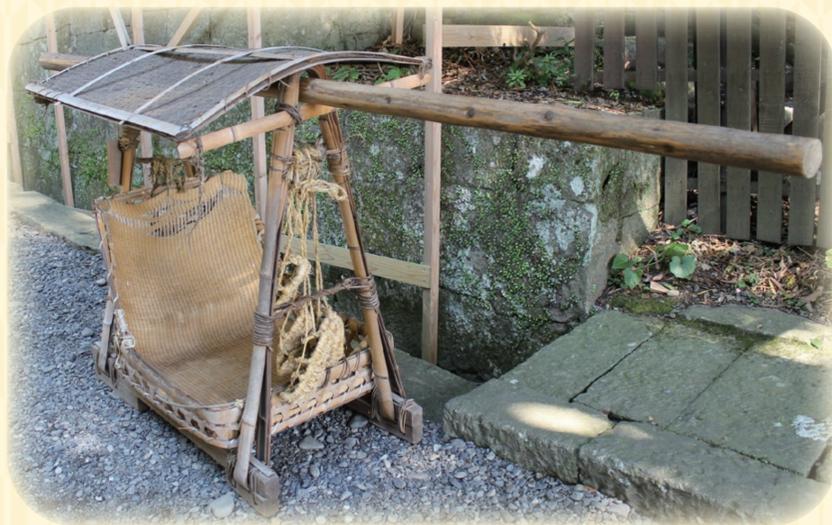
くため街中で大活躍。それまで泊まりがけで出かけ

ていた場所に日帰りできるようになるなど、庶民の

あし ぜんこく ひろ
足としてまたたくまに全国に広がりました。

ひとびと せいかつ さんぎょう はってん きよ じん
人々の生活だけでなく産業の発展に寄与した人

りきしゃ めいじ いだい はつめい
力車は、まさに明治の偉大な発明だったのです。



かご
駕籠